番号①

概要説明書

評価・提案テーマ	定住促進対策	担当局・部名	産業・建設部
		担当課･係名	産業観光課
協議内容	空き家の活用	役職	主査
		作成者	依田博江

政策実施の背景	近年、人口減少や高齢化により市内には空き家が点在している。空き家の増加は治安や環境に影響を及ぼす恐れがあるため、これを解消することは大きな課題である。そのような中、都市部から地方へのＩ･J･Uターンの希望者が抱える問題として住宅の確保があげられるため、市内の賃貸･売却可能空き家情報を提供する｢都留市空き家バンク｣を運営し、やまなしに地域居住推進協議会、移住･交流推進機構(JOIN)を通して市内の空き家情報を広く発信している。
目　的 （何をどうしたいのか）	都留市における空き家の有効活用を通し、都留市の活性化並びに都市部等からの移住による定住人口の増加及び二地域居住による交流人口の増加を図る
市取組例　取組事業名	都留市空き家バンク
市取組例　取組内容	市内に売却や賃貸したい空き家を持つ人が空き家バンクに物件を登録し、ホームページに掲載された空き家を購入または賃借し移住したい人（利用希望者）が、当事者間で交渉契約を行う。 空き家登録を増加させるために、広報等による周知や空き家所有者へ毎年発送される固定資産税通知封筒への登録案内印刷などを実施している。
市取組例　取組における課題	都留市内に多くの空き家が点在しているが、「仏壇がある」「一部を使用している」「お盆に帰省する」「相続が完了していない」などの理由により空き家バンク登録件数が少なく、空き家バンクの賃貸物件を利用して都留市に移住を希望する世帯は増加傾向にあるが、賃貸物件が不足しているためその要望に応えられていない。

コスト	26年度（予算）	25年度（決算）	24年度（決算）	23年度（決算）
事業費　事業費合計	50 千円	50 千円	50 千円	50 千円
事業費　主な事業費内訳（平成25年度分）	やまなし二地域居住推進協議会法令外負担金 ・「甲斐的生活|山梨で暮らす。二地域居住・田舎暮らし応援総合サイト」への情報提供 ・「ニッポン移住・交流ナビ　JOIN－田舎暮らしを応援します」への情報掲載			

事業実績　活動実績	【活動指標名】	単位	H25年度	H24年度	H23年度
	都留市空き家バンク登録物件数	件	17	4	2
	都留市空き家バンク利用申込世帯数	世帯	19	2	2
	申込都留市空き家バンク利用登録契約（延件数）	件	5	2	2

特記事項	現在の空き家利用対象者は、都留市外に居住する者で、都留市に定住又は滞在を目的とすることに限定している。